

# 融雪材 廃棄物の炭化物利用

左：通常施工  
パイプ5cm間隔

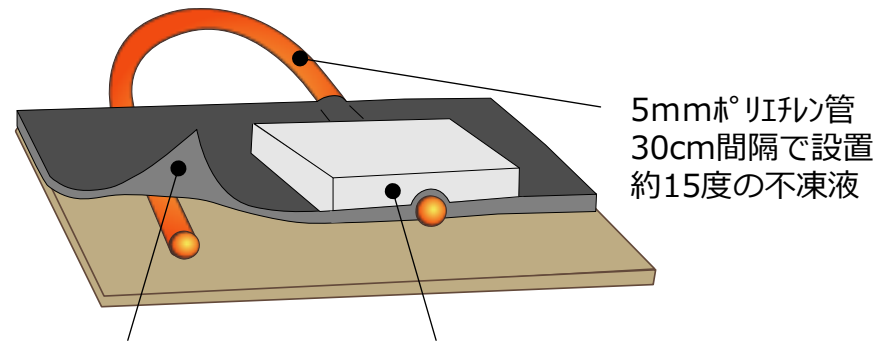
右：炭素シート有り  
パイプ30cm間隔



炭素材と熱源による融雪システムです。  
炭素の熱伝導拡散作用により放熱効果を付加し、  
融雪機能を有する寒冷地向けの新建材開発。  
混入する炭は廃棄物を利用した炭化物から  
生成し、資源の有効利用にも貢献。

## 効果

寒冷地の家屋屋根瓦の融雪、  
道路・駐車場の路面凍結緩和  
熱交換器を使用することで、  
夏場のヒートアイランド化  
防止にも効果あり



カーボンシート  
(100%カーボン)  
面方向に熱伝導率  
500W/m・k

### 融雪ブロック

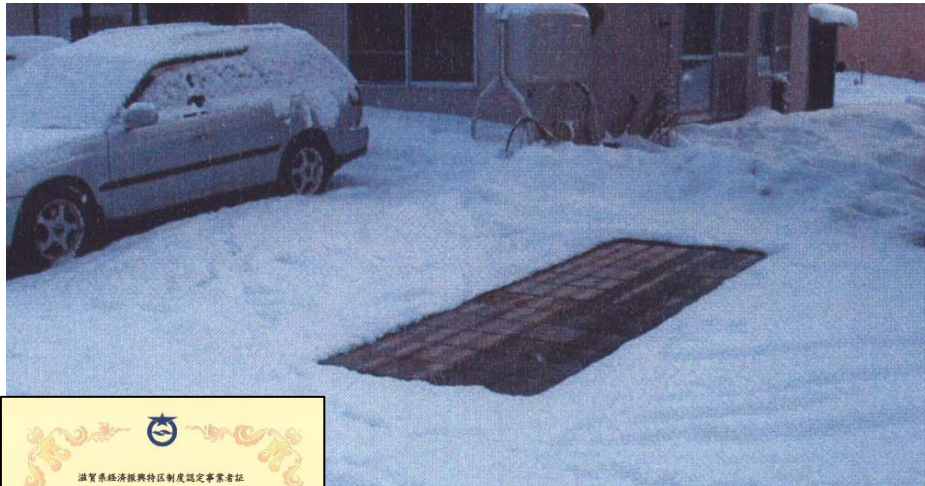
廃棄プラスチックランク  
廃プラ炭化物約20%混入

5mm $\phi$ ポリエチレン管  
30cm間隔で設置  
約15度の不凍液

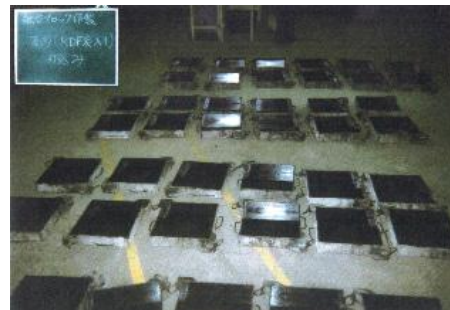
# 融雪材 廃棄物の炭化物利用

## 融雪瓦・融雪ブロックの研究開発

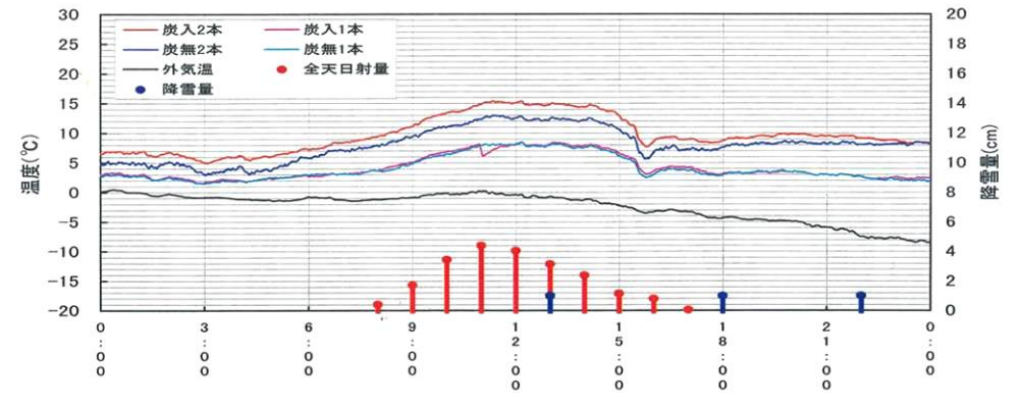
北海道 旭川市にて実験 2006.12.22~2007.3.31



琵琶湖南部新産業創出特区  
計画事業 認定



20070108



※1・2本とは測定時の電機の配線の本数です

# 融雪材 廃棄物の炭化物利用

融雪瓦・融雪ブロックの研究開発

滋賀県 大津市 朽木支所にて実験 2006.11.20

